

	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標 (H34)	H27目標	H27実績	達成度	備考	基本方針・個別目標
						最終目標	延べ実績			
重点 プロ ジェ クト 1	○国の天然記念物に指定されている馬場大門のケヤキ並木を将来にわたり保護管理していきます。	ふるさと文化財課	巡回監視(並木の全樹木の生育状況調査及び危険木等の確認)と日常目視確認	春と秋の巡回監視	毎年2回	2回	2回	目標どおり順調に進捗している	秋の巡回を10月に実施予定であったが、樹木の伐採等の関係で、11月に実施し、木の育成状況や不要木や危険木の点検をした。また、関係課と連携し、除去等を指導した。	基本方針1 緑の保全と活用
	○用水路は、ふるさとを感じさせる田園風景を構成する重要な要素であることから、地域の住民の協力を得て、公園や緑道などと一緒に利用の方を検討します。					18回	4回			
	○里道の歩道化を検討するとともに、既存の緑道などと連結し、休憩場所などがある快適な歩道のネットワーク化を推進します。	公園緑地課	新水路の通年通水の検証	施設改良	毎年1か所	1か所	1か所	目標どおり順調に進捗している	緑道などの改修に伴い、水の経路整備を図ることで、通年通水範囲の拡大に取り組んでいる。	基本方針1 水辺の保全と活用
	○里道の歩道化を検討するとともに、既存の緑道などと連結し、休憩場所などがある快適な歩道のネットワーク化を推進します。					9か所	2か所			
	○生産緑地を中心として、積極的に都市農地を保全します。	経済観光課 (農業委員会)	農業経営改善事業補助金により、生産緑地等農地の保全協定を締結し、農地の保全を図る。生産緑地を見回り、営農態の確認をとる。	案内標識・案内板設置及び改修件数	平成28年度以降は、里道等の快適な歩道化(検討)	6か所	2か所	目標どおり順調に進捗している	郷土の森公園を中心に各駅を結ぶ案内板の設置及び改修は完了した。今後は、水と緑のネットワークを結ぶ、各緑道、遊歩道の案内板を改修していく。	基本方針1 緑の保全と活用
	○公園・緑地の拡充や農地の保全などオープンスペースを確保し、防災機能の強化を図ります。					—	11か所			
	○公立小・中学校の校舎を対象に、施設内緑化(屋上緑化、ビオトープ整備など)や、みどりのカーテンの設置を推進します。	公園緑地課	さくら公園拡張整備	事業認可図書作成	H28基本設計 H29詳細設計	52,525m ²	48,446m ²	目標どおり順調に進捗している	協定農地面積については年度目標には達しなかったものの到達率92.2%となっており、概ね目標どおり順調に進捗したものと考える。	基本方針1 農地の保全
	○公園・緑地の拡充や農地の保全などオープンスペースを確保し、防災機能の強化を図ります。					60,000m ²	— m ²			
	○公立小・中学校の校舎を対象に、施設内緑化(屋上緑化、ビオトープ整備など)や、みどりのカーテンの設置を推進します。	総務課	ビオトープが設置されている学校施設(十小、矢崎小、南白糸台小)で施設を管理し、活用を図る。レベルアップ事業により、樹木の剪定・刈込みを行い、樹木の維持管理の強化を図る。	ビオトープの適正な管理を行い活用を図る学校数。(3校)樹木の剪定・刈込みを行い、樹木の維持管理の強化を図る学校数。(全校)	毎年要望に応じて実施 レベルアップ事業はH31で終了予定	33校	33校	目標どおり順調に進捗している	各学校で、レベルアップ事業である樹木の剪定、刈込みを行った。ビオトープについても、適正な管理を行い活用を図っている。平成28年度指標変更。	基本方針4 地球温暖化対策
	○「(仮称)府中市生物多様性保全地域戦略」の策定を検討し、自然環境の保全や野生動植物の保護、外来種対策など、地域の特性に応じた生物多様性の保全に関する実践的な取組を促進します。	環境政策課	生物多様性の主流化	達成率	H26策定 H27以降は主流化 戦略期間はH31まで	20%	20%	目標どおり順調に進捗している	普及啓発や市民参加型の取組みの強化を図るとともに、生物多様性を分かりやすく伝える工夫や関心の低い層への働きかけを行っていく。平成28年度指標変更。	基本方針1 生物多様性の保全
	○生き物の生息状況及び生息環境の現状と経年変化を把握するため、市民団体やボランティア、教育・研究機関などと協力して、調査方法を検討し、定期的に生き物調査を実施します。	環境政策課	動植物の生息状況を把握し、自然環境への関心の向上を図ります。	生きもの調査の実施回数	毎年12回	12回	12回	目標どおり順調に進捗している	毎月武蔵台公園にて、自然環境調査員による動植物調査を実施している。	基本方針1 生物多様性の保全
	○東京都や関係機関と連携し、多摩川の水質浄化や流水量の確保、生態系の復活に向けた取組を推進します。	環境政策課	水質の汚染状況を継続的に監視し、環境基準の達成を目指します。	多摩川水質調査、湧水調査の実施回数	毎年14回	14回	14回	目標どおり順調に進捗している	引き続き調査、監視を継続とともに、調査項目についても多摩川水系水質監視連絡協議会における他市の動向に注視し、適正な項目を選定する。	基本方針1 水辺の保全と活用
	○用水路の活用にあたっては、まちに潤いをもたらす環境用水として位置付け、通年通水を目指し多様な生物がすめる水辺づくり、景観の保全、親水性の向上に配慮した整備を検討します。					126回	28回			
	○用水路の活用にあたっては、まちに潤いをもたらす環境用水として位置付け、通年通水を目指し多様な生物がすめる水辺づくり、景観の保全、親水性の向上に配慮した整備を検討します。	公園緑地課	親水路の通年通水の検証	施設改良	毎年1か所	1か所	1か所	目標どおり順調に進捗している	通年通水(環境用水)の取組みを進め、範囲を拡張するとともに、施設の整備を進めていくことにより、水を中心とした生物の活動範囲を広げ、生物多様性の取組みにつなげていく。	基本方針1 水辺の保全と活用
	○用水路の活用にあたっては、まちに潤いをもたらす環境用水として位置付け、通年通水を目指し多様な生物がすめる水辺づくり、景観の保全、親水性の向上に配慮した整備を検討します。					9か所	2か所			

	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標 (H34)	H27目標	H27実績	達成度	備考	基本方針・個別目標
						最終目標	延べ実績			
11	○府中の名木百選に選定された名木や保存樹木に指定された樹木について、市及び市民が協力して保全、維持管理する新たな仕組みを検討します。	環境政策課	現状の把握に努める中で、樹木の適正な維持管理をしていく。	保存樹木の指 定	平成34年度に 2,000本を維持	2,000 本	2,084 本	目標どおり順 調に進捗して いる	民間地の緑を確保することが難しくなっており、地域にある貴重な緑として維持できるよう事業を継続する必要がある一方、近隣トラブルが発生していることもある。このことから、現状の把握に努める中で、樹木の適正な維持管理のあり方について検討する必要がある。	基本方針1 緑の保全と活用
						2,000 本	2,084 本			
12	○樹林地について、保存樹林制度や市民緑地制度等により積極的な保全と活用を検討します。	環境政策課	保存樹林の現状把握と保存樹林の適正な維持管理に努めます。	保存樹林の指 定	平成34年度に 984m ² を維持	984 m ²	984 m ²	目標どおり順 調に進捗して いる	民間地の緑を確保することが難しくなっており、地域にある貴重な緑として維持できるよう事業を継続する必要がある一方、近隣トラブルが発生しているもある。このことから、現状の把握に努める中で、樹木の適正な維持管理のあり方について検討する必要がある。	基本方針1 緑の保全と活用
						984 m ²	984 m ²			
13	○開発事業が行われる際には、開発事業者との協議により、既存の緑地の保全を誘導します。	公園緑地課	まちづくり条例に基づいた緑地の確保	既存の緑地確 保	毎年1か所	1 か所	1 か所	目標どおり順 調に進捗して いる	地域の特性を活かした樹種の選定や補植を行い、周辺環境との調和を図ることで、緑の連続性を進めていく。	基本方針1 緑の保全と活用
						9 か所	2 か所			
14	○市が中心となって、所有者や隣接する商店街、自治会など市民との協働で行うけやきの管理体制を構築します。	管理課	けやき並木通りの清掃について、インフラ管理ボランティア制度の活用を促していく。	申請数	平成26年度・ 27年度は毎年 5団体 平成28年度以 降は毎年20団 体	5 団体	19 団体	目標以上に 進んでいる	けやき並木通りの清掃は、周辺住民や店舗事業者により適宜行われているが、府中まちなかきらら（インフラ管理ボランティア制度）が市民に認識されつつあり、申請団体が前年度より増えた。 短期 18団体 長期 1団体	基本方針1 緑の保全と活用
						150 团体	24 团体			
15	○府中崖線の保全とともに、崖線と調和した土地利用を進めます。	公園緑地課	巨大化及び枯れによる樹木を選定基準に基づき、計画的な剪定を実施し、樹木の再生を図る。	枯損木の撤去 及び植樹	毎年1か所 平成31年度で 終了	1 か所	1 か所	目標どおり順 調に進捗して いる	専門家の意見を踏まえ崖線の緑の在り方など、適正な維持管理について取り組んでいく。	基本方針3 適切な土地利用の推進
						6 か所	2 か所			
16	○浅間山周辺については、浅間山と調和したまち並みを形成し、環境や景観に配慮した快適なまちづくりを進めいくよう、適切な土地利用を誘導します。	計画課	景観行為の届出対象物件について、事業者と協議を行う。	達成率	景観行為の届出がなされた場合には 100%実施する	100 %	100 %	目標どおり順 調に進捗して いる	該当する届出がなかったが、届出がなされた場合には適切に誘導する。 平成28年度指標変更。	基本方針3 適切な土地利用の推進
						—	—			
17	○景観形成の目標及び方針を実現するため、景観協定、まちづくり誘導地区、地区計画などの活用を検討します。	計画課	開発事業等において景観協定を締結する面積を増加する。	景観協定面積	平成34年度 5,000m ²	5,000 m ²	8,620 m ²	目標以上に 進んでいる	目標数値を上回ることができた。 開発面積5,000m ² 以上を協定の目安としている。	基本方針3 景観の保全
						— m ²	8,620 m ²			
18	○公共施設に、太陽光発電システムや太陽熱利用システムなどを積極的に導入します。	建築施設課	太陽光発電設備を対象とした施設は、100%実行する。	達成率	毎年、対象とした施設について100%実施する	100 %	100 %	目標どおり順 調に進捗して いる	年間を通して太陽光発電設備を対象とした施設が無かった。	基本方針4 地球温暖化対策
						—	—			
19	○公共施設にLED照明を積極的に導入します。	建築施設課	LED照明を対象とした施設は、100%実行する。	達成率	毎年、対象とした施設について100%実施する	100 %	100 %	目標どおり順 調に進捗して いる	年間を通じて、工事施行依頼書による依頼件数は6件あり、LED照明を825台設置した。 実績率 依頼6件/実施6件=100%	基本方針4 地球温暖化対策
						—	—			
20	○カーボンオフセットなどの地域の枠を超えた取組を推進します。	環境政策課	カーボンオフセット事業を継続し、二酸化炭素吸収量の増加を図ります。	森林整備実施 面積	毎年約20ha	20 ha	16.79 ha	目標どおり順 調に進捗して いる	事業開始(H23)からの間伐面積は 96.59ha	基本方針4 地球温暖化対策
						180 ha	36.5 ha			
21	○自転車駐車場の適切な配置の推進や、自転車の共同利用に関する検討を行うとともに、歩行者の安全を守りつつ、自転車を利用しやすい環境(広い歩道等)の整備を図りながら、積極的に自転車等の利用を促進します。	地域安全対策課	放置自転車の撤去強化	達成率	毎年100%	100 %	100 %	目標どおり順 調に進捗して いる	自転車駐車場の管理運営を適切に行い、また、放置自転車の撤去を継続的に行うことにより、着実に自転車利用のルールや環境を醸成することにより、歩行者の安全を守ることを推進している。	基本方針4 地球温暖化対策
						—	—			

	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標 (H34)	H27目標	H27実績	達成度	備考	基本方針・個別目標
						最終目標	延べ実績			
22	○食材を多く買いすぎない、食べ残しをしない、生ごみは一絞りして水分を取るなど、自ら実践できる方法を、ごみ広報紙「府中のごみ」などを通じてPRしていきます。	ごみ減量推進課	市民に府中市のごみの現状・ごみ減量・分別について広報、ごみ新聞等で周知する。	1人1日あたりのごみ量	平成34年度 1人1日あたり のごみ量532.5 g	620 g	630 g	やや遅れが 生じている が、概ね順調	ごみ新聞やイベント等によるごみ減量への啓発活動を継続することで、1人1日あたりのごみ量は減少傾向にあるものの、減少幅については鈍化が見られる。より広く身近に感じられるよう啓発活動に工夫をしていく必要がある。	基本方針4 リサイクル・ごみ減量化の推進
23	○マイバッグを持参しない無関心層を取り込むため、市民団体や販売店、商店街などと連携し、単にごみ減量の観点だけでなく、デザインや機能性など様々な視点からマイバッグの持参やレジ袋の削減を呼びかけます。	ごみ減量推進課	マイバッグの持参率を2%上げる。	スーパー店頭 で行っているマ イバック持参率	平成34年度 持参率74%	60 %	74.15 %	目標以上に 進んでいる	昨年の同時期と比較して2%以上上 がっており、年度別目標を達成してい る。また、年々数値が上がっていること から、マイバッグを活用している人の割 合は当初の目標以上に高くなってきた。	基本方針4 リサイクル・ごみ減量化の推進
24	○市内で食の資源循環を行うため、給食残さの一部を堆肥化し、市内農家などで活用する実験を行います。	ごみ減量推進課	家庭から排出される生ごみを 堆肥化し、資源循環の流れ を形成する。	生産堆肥量	平成29年度以 降は未定	50 kg	0 kg		やや遅れが 生じている が、概ね順調	
25	○ごみ減量・リサイクルを推進する販売店などの取組や成果を公表・チェックするなどの仕組みづくりを検討します。	ごみ減量推進課	ごみ減量・3R推進に取り組 んでいる事業者について調 査及び広報活動を行う。	広報店舗数	広報店舗数毎 年5店	5 店	24 店	目標以上に 進んでいる	市内のリユースショップ及び紳士服店 での下取りについて調査、取材を行 い、取組んでいる活動について新たに 5店舗を情報紙「府中のごみ」に掲載 した。今後についてもごみ減量・3R推 進の取組みを行う事業者についての 取材を行い、情報紙等に掲載してい く。 平成28年度指標変更。	基本方針4 リサイクル・ごみ減量化の推進
26	○小学生とその保護者を対象に、多摩川河川敷で生き物とふれあい、水辺での遊びを通じて親子で環境を学ぶ機会を提供する、「府中水辺の楽校」の開催を継続的に支援します。	環境政策課	府中水辺の楽校運営協議会 の実施、水辺の楽校の実施	水辺の楽校参 加者数(児童・ 保護者)	毎年2,000人	2,000 人	1,845 人	目標どおり順 調に進捗して いる	水辺の楽校事業が小学生の親子に身 近な自然環境に親近感を覚えさせ、 自然体験学習の貴重な機会となっ ている。 事業開始(H18)からの参加人数は 14,358人	基本方針1 水辺の保全と活用
27	○資料提供や人材派遣などの支援を行はか、防災とまちづくりに関するセミナーーやワークショップ、まちづくりリーダーの養成講座などを開催します。	防災危機管理課	防災活動を行う自治会や町 会等を対象とした「防災研修 会」を実施する。	防災研修会の 実施	毎年1回	1 回	1 回	目標どおり順 調に進捗して いる	予定どおり実施。H27は約300名参 加。	基本方針3 防災対策
28	○市民向けに府中市の歴史読本を発行するとともに、歴史講座を開講し、府中市の歴史と文化の普及・啓発に努めます。	ふるさと文化財課	歴史講座を開講し、府中市 の歴史と文化を普及、啓発す る。	歴史講座の回 数	毎年6回	6 回	7 回	目標どおり順 調に進捗して いる	目標以上の7回実施しており、参加者 には好評であった。	基本方針3 歴史的・文化的環境 の保全
29	○広く市民を対象とする環境に関する各種講座やイベントなどにより環境学習の普及啓発を推進します。	環境政策課	環境学習講座の年10回開 催を目指します。	環境学習講座 の実施回数	毎年10回	10 回	8 回	目標どおり順 調に進捗して いる	環境政策課としての講座実施回数は 目標回数に達していないが、他課の 実施する環境に係る講座の周知をす ることにより、講座開催と同様の効果を 得た。	基本方針5 地域の環境保全活 動の推進
30	○自然観察会や農業体験、野外体験学習など自然とふれあえる体験学習を推進します。	環境政策課	自然との触れ合いの場を提 供し、心身の健やかな成長と 環境への関心の向上を図ります。	田んぼの学校 の開催回数	毎年5回	5 回	5 回	目標どおり順 調に進捗して いる	稻の成長も順調であり、無事に収穫祭 を迎えることができた。 他課の事業との連携やマッチングを検 討する。	基本方針5 地域の環境保全活 動の推進
31	○市民参加で自然環境調査や生活環境調査を実施し、調査結果を蓄積するとともに環境学習などに活用します。	環境政策課	動植物の生育状況を通じて、 動植物を取り巻く環境の変化 を学ぶとともに、自然環境へ の関心の向上を図ります。	動植物観察調 査の開催回数	毎年25回	25 回	25 回			
重点 プロ ジェ クト 3						225 回	50 回	目標どおり順 調に進捗して いる	継続して調査を実施し、状況把握に努 めるとともに、結果を市民に公表する。 新たな調査項目が加わるため、実施 方法について協議する。	基本方針5 地域の環境保全活 動の推進

	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標 (H34)	H27目標 最終目標	H27実績 延べ実績	達成度	備考	基本方針・個別目標
32	○環境保全活動を行う市民ボランティアを養成し、支援とともに、環境保全活動のグループづくりなどを支援します。	環境政策課	環境保全活動センターの役割、活動内容を精査し、機能拡充に努めます。また、情報収集・発信、相談を通じて、環境保全活動センターの認知度向上を目指します。	環境保全活動センターの登録人數	平成34年度までに100人	74 人	71 人	やや遅れが生じているが、概ね順調	ホームページの更なる活用と、サポーターの登録数アップ及び活用を検討する。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進
						100 人	71 人			
33	○環境学習のリーダーを育成します。	環境政策課	かんきょう塾の年6回開催を目指します。	かんきょう塾の実施回数	毎年6回	6 回	6 回	目標どおり順調に進捗している	新規及び幅広い年齢層の受講生確保に努める。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進
						54 回	12 回			
34	○エコ・リーダーの育成等を推進し、市民・事業者・府中市のパートナーシップによる環境保全や環境学習への取組を推進します。	環境政策課	かんきょう塾の年6回開催を目指します。	かんきょう塾の実施回数	毎年6回	6 回	6 回	目標どおり順調に進捗している	新規及び幅広い年齢層の受講生確保に努める。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進
						54 回	12 回			
35	○地域ごとに市民の手による緑化を先導する中核的なリーダーを発掘・育成するため、リーダー育成講習会や各種講座を開催します。	環境政策課	市内の自然環境を保全するにあたり、市内の動植物の生息状況その他の自然環境の調査を行う市民等の活動を支援する。	自然観察会や学習会の開催(参加人数)	毎年50人	50 人	81 人	目標以上に進んでいる	自然環境調査員が身近な自然を紹介するような様々なイベントや企画することで、より多くの市民が自然に対する興味や関心を持ってくれるようになった。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進
						450 人	187 人			
36	○府中市環境保全活動センターを活用し、グループによる環境保全活動のPRや情報提供を行うとともに、相互の交流を推進します。	環境政策課	情報収集・発信、相談を通じて、環境保全活動センターのサポーターの増員と認知度向上を目指します。	環境保全活動センターの登録人數	平成34年度までに100人	74 人	71 人	やや遅れが生じているが、概ね順調	ホームページの更なる活用と、サポーターの登録数アップ及び活用を検討。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進
						100 人	71 人			
37	○府中市環境保全活動センターを活用し、市民や事業者へ環境情報の提供や市民や事業者からの環境情報の収集を行います。	環境政策課	'かんきょう活動センターだより'やホームページを活用し、環境情報の収集・発信に努めます。	'かんきょう活動センターだより'の発行回数	毎年4回	4 回	4 回	目標どおり順調に進捗している	ホームページの活用は順次図られているが、サポーターへのメール配信等による環境関連事業の情報発信について検討する。	基本方針5 市民・事業者・行政の連携
						36 回	8 回			
38	○学校施設については、子どもたちが自然とふれあう機会を増やすとともに、粉じんの抑制やヒートアイランド現象の緩和などの環境対策や校庭開放による地域コミュニティ活動の促進を図るために、校庭の芝生化を計画的に進めます。	総務課	校庭芝生化が完了した学校において、維持管理を施設利用者や地域の方と協働で進めていく。	維持管理の校数	毎年8校	8 校	8 校	目標どおり順調に進捗している	学校の芝生状況を把握し、適切に管理できている。	基本方針1 緑の保全と活用
						—	—			
39	○公立小・中学校を対象に、太陽光発電システムや太陽熱利用システムを建替え及び大規模改修等の際に導入します。	総務課	小・中学校の建替え及び大規模改修等に併せ、太陽光発電システムや太陽熱利用システムを導入する。	導入済み校数	平成34年度までに7校	3 校	3 校	目標どおり順調に進捗している	建替え及び大規模改修があった場合に導入するため平成27年度については0校。 平成28年度指標変更。	基本方針4 地球温暖化対策
						5 校	3 校			
40	○導入に当たっては、生徒の学習効果を高めるため、発電量の見える化を図ることや、太陽光発電システム等の原理・構造などを紹介した学習教材を整備します。	総務課	小・中学校の建替え及び大規模改修等に併せ、太陽光発電システムや太陽熱利用システムを導入した学校に発電量などを表示する。	導入済み校数	平成34年度までに7校	3 校	3 校	目標どおり順調に進捗している	建替え及び大規模改修があった場合に導入するため平成27年度については0校。 平成28年度指標変更。	基本方針4 地球温暖化対策
						5 校	3 校			
41	○公立小・中学校の敷地内に、雨水の貯水タンクや貯水槽を設置し、雨水利用による省資源対策を推進します。	総務課	小・中学校の建替え及び大規模改修に併せ、雨水利用施設を設置する。	導入済み校数	平成34年度までに11校	7 校	7 校	目標どおり順調に進捗している	建替え及び大規模改修があった場合に導入するため平成27年度については0校。 平成28年度指標変更。	基本方針4 地球温暖化対策
						9 校	7 校			